

ふじやく

一般社団法人 藤沢市薬剤師会

〒251-0052 藤沢市藤沢 921
事務局 TEL.0466-22-8664
FAX.0466-23-5898

薬局って何をやっているの？何が出来るの？それをお伝えするための藤沢市薬剤師会広報紙！
今回は、新興感染症や災害時などの非常時において行われる薬剤師の活動含め、ご紹介いたします。
地域の皆さんの健康のためにさまざまな活動を行っている薬剤師の一端を、ぜひご覧ください。

TOPICS

知っていますか？「おくすり相談薬局」

藤沢市薬剤師会が提案する身近な医療提供施設としてのかかりつけ薬局です。

適切な市販薬の提供、受診の勧め、保険調剤、医薬品に関する正しい知識の普及、在宅での服薬管理・支援などのさまざまな事に対応し市民の健康を生涯通してサポートする薬局が「おくすり相談薬局」です。

今回おくすり相談薬局の ロゴが変更されました！！

健康・介護・お薬について何かご相談がある際はぜひこちらのマークのついた薬局をご利用ください！



改めて考える防災対策

いつ、どこで何が起きるか分からない世の中で、災害時に備えて薬の準備をしておくことは非常に重要です。以下にお薬の準備について説明します。

数日分の予備薬を持ち出せるようにしておく

災害直後は救命救急が最優先され、通常の診療が受けられないことがあります。いつも飲んでいる薬がある場合、3日間から1週間分の予備薬を用意しておきましょう。特に命に関わる薬（例：糖尿病治療のインスリン）は必ず予備薬として用意しておくことをお勧めします。

お薬手帳を携帯すること

災害後、自分が飲んでいる薬の種類や名前を把握できないことが問題となります。お薬手帳には、飲んでいる薬や副作用歴、アレルギー歴が記載されています。普段からお薬手帳を携帯し、お薬手帳のコピーを避難用バッグに入れておきましょう。

怪我対策、病気対策、その他の薬などの準備

災害時に困らないために、以下の薬を用意しておくことをおすすめします。

- 怪我対策に備えておきたい市販薬（例：抗生剤入りの軟膏、痛み止めなど）
 - 病気対策におすすめの市販薬（例：解熱鎮痛剤、風邪薬、胃腸薬、便秘薬など）
 - 最低限は持っておきたい救急セット（例：包帯、ガーゼ、綿棒、絆創膏、消毒液など）
- これらの対策を講じて、災害時に備えましょう。



「薬と健康の週間イベント」で講演をした薬剤師から



昨年10月に、「薬剤師が教える感染症との付き合い方」についてお話しさせていただきました。

薬剤師は薬の専門家というイメージが強いと思いますが、薬剤師の仕事の中には公衆衛生の向上と市民の健康に寄与する事とあり、感染症との関わり方についても学んでいます。

新型コロナウイルスの流行により、市民の皆さまも感染症について考える機会が増えたかと思いますが、人と感染症は歴史の中でさまざまな試練を乗り越えながら共存してきた存在です。そのため、軽率な

判断は気を付けなければいけません、過度に恐れる必要もありません。

今回の新型コロナウイルスのような新興感染症や災害時などの非常時には、インターネットの普及により様々な情報が溢れており、正しい情報を見極めることが難しい状況です。しかし、薬局でいつも接している薬剤師は公衆衛生に通じた専門家ですので、分からないことや悩み事があれば相談してもらえるといいなという思いを持っています。

市民の皆さまには、ぜひかかりつけ薬局をお持ちいただき、薬そして健康についても様々なことを相談できる薬剤師の存在を知っていただけたら嬉しいです。

こども薬剤師体験教室



藤沢市薬剤師会では2011年よりこども薬剤師体験教室を実施しております。

2020年及び2021年は新型コロナウイルス発生を受け、実施を見送っていましたが、2022年にはオンラインでの実施を行い、2023年には現地での開催を再開いたしました。

オンラインでの薬剤師体験では調剤器具や白衣等を参加者のご自宅に郵送し、ZOOMを利用してオンライン配信にて実施いたしました。感染対策の観点から様々な活動が制限されている中ではございましたが、薬剤師の業務や調剤体験を通じて、子供達から好評の声をいただくことができました。



今年度のこども薬剤師体験教室にも多数のご応募をいただき、抽選の結果20名の児童に参加いただくことができました。久しぶりに子供達とふれあい、実際の器具を使用した調剤体験を行い、生の薬剤師のメッセージをお伝えいたしました。

2024年も夏休みの時期に開催する予定ですので、藤沢市在住又は藤沢市内の小学校に通学している5、6年生のご参加をお待ちしております。



新型コロナウイルスワクチン集団接種について



2021年6月より2023年12月までの約2年半、藤沢市では新型コロナウイルスワクチンの集団接種を実施いたしました。藤沢市薬剤師会は、ワクチンの配送、そして集団接種会場におけるワクチンの品質・安全管理を行いながらワクチン分注業務を担ってまいりました。裏方なので知らない方も多いかもしれませんが、実は大きな役割を果たしておりました。業務を担った薬剤師の数は、薬局・病院勤務の薬剤師含めて延べ1611人です。

医師、看護師、行政の方々と共に「オール藤沢」で頑張りました！新型コロナウイルスのワクチンは、来年度からはインフルエンザのワクチンと同様の扱いになります。接種を希望する方は、年に1回、秋冬に各医療機関のみで接種することとなる見込みです。今回薬剤師がワクチンに関わることができたので、もしかしたら将来的には町の薬局でも予防接種を受けられる日が訪れるかもしれませんね。